



西小だより

9月号

令和8年9月1日

◆一人ひとりの「時間を守る」が、みんなの安心をつくる◆

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。いよいよ2学期のスタートです。2学期は、日々の学習はもちろん、さまざまな行事や活動を通して、子どもたちが仲間と力を合わせ、新しいことに挑戦し、大きく成長していく学期でもあります。

さて、本校の「にこにこプロジェクト」では、9月の重点目標を「時間を守ろう」としています。「時間を守る」と聞くと、「チャイムが鳴り終わるまでに席に着く」「決められた時刻までに集合する」といった形式的なルールを思い浮かべるかもしれませんが、しかし、時間を守ることには、もっと大切な意味があります。例えば、授業が始まる前に準備をして待つ。休み時間が終わる時刻を考えて行動する。みんなで集まる時刻に間に合うように少し早めに動く。そこには、「次に何をするのか」を自分で考え、自ら行動する力があります。そして、もう一つ大切にしたいのは、時間を守ることは自分だけの問題ではないということです。一人ひとりが時間を守れば、みんなが落ち着いて授業を始めることができますし、友達を待たせることもありません。つまり、時間を守ることは「みんなの時間を大切にすること」であり、「相手を大切にすること」でもあるのです。



日本では、公共交通機関が分単位で正確に運行されることが、外国から来た人々に驚かれるそうです。新幹線の平均遅延はわずか1分未満とも言われています。これは単にシステムの効率や技術の高さを求めているからではありません。その根底には、「乗る人一人ひとりの予定や安心を守りたい」という、運行に携わる人々の強い願いがあります。これは、わたしたちの日常にも通じることで、時間を守るということは相手の生活や気持ちを思いやることにほかなりません。誰もが当たり前のように時間を守る背景には、お互いを尊重し合い、社会全体で支え合う、日本ならではの美しい心が息づいています。

1学期、子どもたちは「あいさつをしよう」「先生や友達の話进行を聞こう」「ふわふわ言葉を使う」「廊下や階段の右側を歩こう」など、一つ一つの目標にみんなで取り組んできました。こうした毎日の小さな行動の積み重ねが、誰もが安心して過ごせる学校をつくっています。

2学期も、一人ひとりのよい行動をみんなで認め、価値づけ、増やしていきたいと思います。そして、子どもたちのよい行動を支えるために、私たち教職員自身も、子どもたちのロールモデルとして「時間を守る」姿勢を大切にしていきます。大人が示す真摯な姿は、子どもたちにとって大きな学びとなるからです。

一人ひとりの「時間を守る」が、みんなの安心をつくる。9月は、そんな意識を子どもたちと共有しながら、気持ちのよい2学期のスタートを切っていきます。 校長 檜室 豊

すべての子どもたちが主体的に学び続け 人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

思いやりのある子ども

第2回PTA草刈り作業



8月22日(土)に、PTA草刈り作業を行いました。午前7時からの草刈り機を使っでの作業、午前8時からの草集め、草抜き作業と、2時間あまりの作業でした。子どもたちも教職員と一緒に第1グラウンドの草抜きを行いました。暑い中での作業でしたが、皆様のご協力により作業を終えることができました。作業前とは見違える程きれいになり、整った環境の中で、2学期も子どもたちが思い切り活動できます。参加して下さった皆様、草刈り機、軽トラックを出していただいた皆様に心から感謝申し上げます。

2学期スタートしました(始業式)



子どもたちの元気な声とともに2学期がスタートしました。夏休み前に校長から出された自分の命を守るという宿題をしっかりと守り、子どもたちが元気に登校できたことをうれしく思います。始業式では、すべての学年の児童が静かに集まることができました。腰骨をピンと立てて話を聞く様子から2学期も頑張ろうとする気持ちが伝わってきました。校長は、「にこにこプロジェクトで取り組んでいることは、どれも相手を大切にする行動です。2学期も、相手を大切にし、様々なことに挑戦していきましょう。」と全校児童に語りかけました。

2学期も、学校・家庭・地域が連携した取組を進めてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

望ましい行動を増やしていくために
子どもたちのすてきな姿教えてください。

